

小田原市市民提案型協働事業(令和2年度実施分)第2次審査対象事業

○新規事業

No.	事業名	団体名 (代表者)	事業の概要	総事業費 (市の支出)	担当課
1	「小田原くくり罠塾」事業 ～林道奥地捕獲の試行 と捕獲者育成事業～	おだわらいノシカ捕 獲ネットワーク (穂田芳雄)	シカの生息密度の急上昇による森林の植 生劣化や農林業被害を抑制するために、 捕獲経験者の指導のもと、捕獲効率の高 いくくり罠猟の現場実習等を行うことで、有 効な捕獲技術の共有化を図り、捕獲の担 い手を育成していく。	1,000,000円 (1,000,000円)	農政課
2	全世代対象の地域づくり ～新たなプラットフォーム 形成の提案～	ケアネットOHMY (高山和子)	複合的な課題を抱える家族や障がい者の 高齢化、少子化などの課題に対し、地域と して支える仕組みを構築するために、主任 介護支援専門員が市と協力して研修会や フィールドワーク等を実施することで、幅広 い分野の専門職や市民とのネットワークを 構築し、地域共生社会の実現を図る。	745,080円 (745,080円)	高齢介護課
3	mama job サミット	NPO法人 mama's hug (山本加世)	仕事と育児の両立を困難に感じる女性に 対し、子どもの成長により変化するライフ スタイルに合わせ、社会への再出発を後押し するため、女性の就労・起業の促進を目的 とした「mama jobサミット」等のイベントを開 催する。	725,130円 (453,500円)	子育て政策課

○継続事業

No.	事業名	団体名 (代表者)	事業の概要	総事業費 (市の支出)	担当課
1	高齢期の知っとくいきい き講座(介護予防普及啓 発事業)	すっきり暮らす研 究会 (牧野有紀子)	高齢者が安心して心豊かに暮らせるため の学びの場として、転倒予防のための整理 収納講座及びロコモティブシンドロームへ の理解を深め運動器を長持ちさせるため の講座を実施し、高齢者が要介護・要支援 にならない自立した生活を送ることを目標 とする。	194,790円 (186,790円)	高齢介護課
2	「メダカ」で気づく(築く) 「小田原の豊かな暮らし デザイン」プロジェクト	めだかサポーター の会 (山田純)	自然に恵まれた小田原で暮らすことの「豊 かさ」について、市民の方々に気づいても らい、自然の恵みを普段の暮らしに溶け合 わせ、環境保護活動への参加意欲の促進 に繋げるために、以下の事業を実施する。 ①小田原の自然の豊かさを発信するWEB の更新やコンテンツ追加 ②高齢者施設 や保育園・幼稚園へのめだか水槽寄贈 ③講演会 ④藁で作られた常設の休息空 間づくり	1,000,000円 (790,000円)	環境保護課

第2次審査用の事業提案書等の提出期限 9月13日(金)